

自己検査用グルコース測定器

コントアネクスト[®] link_{2.4}



 **ASCENSIA**
Diabetes Care

Medtronic

(本品には含まれておりません)

コントアネクスト センサー専用測定器

取扱説明書

用途

コントアネクスト Link2.4血糖測定システム（測定器、血糖センサー）は、指先や手のひらから採取した毛細管全血の血糖を定量的に測定してグルコース濃度モニタリングを行う自己検査用（体外診断用）に使用します。

コントアネクスト Link2.4血糖測定システムは、無線通信を介して血糖値等の情報をメドトロニック ミニメド600シリーズ インスリンポンプに送信できます。また、メドトロニック ミニメド600シリーズ インスリンポンプとメドトロニック CareLink™ソフトウェアとの情報伝達を中継します。コントアネクスト Link2.4血糖測定システムは、糖尿病の診断やスクリーニングを目的としたものではありません。また新生児を対象としていません。

重要な安全情報



警告

重篤な疾患

- 毛細管血（指先または他の部位）での血糖測定は、末梢血流の低下がある場合、臨床的に適切ではないと考えられています。ショック状態、重症低血圧、高浸透圧高血糖症候群、糖尿病性ケトアシドーシス、および重症脱水は、末梢血糖値の測定に悪影響をおよぼすとされている代表例です。¹⁻³
- 小児の手が届かないところに保管してください。本品には誤飲すると窒息の危険がある小さな部品が含まれています。

以下の場合には主治医と相談すること

- 測定器の目標範囲や警告の範囲を設定する前。
- 測定結果に基づいて薬物治療を変更する前。
- 血糖測定値が50 mg/dLを下回ったときは、直ちに主治医の指示を仰いでください。
- 血糖測定値が250 mg/dLを超えたときは、手をよく洗い水気を拭き取ってから新しい血糖センサーで再測定をしてください。同じような測定値が出たときは、速やかに主治医に報告をしてください。
- 別の部位での測定（手のひらや前腕部: AST）が適切であるかどうかの判断を仰ぎたいとき。

潜在的な危険

- 測定の前後、および測定器や穿刺器具、血糖センサーの取り扱いの前後には、必ず手を石鹸と水でよく洗って水気を拭き取ってください。
- 穿刺器具および穿刺針は個人使用限定です。家族を含め、誰とも共有しないでください。複数の人で使い回さないでください。^{4,5}
- キットの全ての部品は、清掃後であっても感染性があるとみなされ、感染性疾患の感染リスクがあります。清掃方法は「測定器の清掃・消毒」（56 ページ）を参照ください。
- 穿刺器具は個人使用限定の器具です。感染リスクがあるため、複数の人で共用しないでください。
- ⑧ 測定ごとに新しい穿刺針を使用してください。使用後は血液等が付着している可能性があります。
- 血糖センサーと穿刺針は、必ず医療廃棄物として、あるいは医療関係者の指示に従って廃棄してください。血液に接触する全ての製品は、感染の可能性があるものとして取り扱ってください。

使用上の注意

- ❗ コントアネクスト Link2.4の取扱説明書、穿刺器具の添付文書、その他関連する機器等の取扱説明書を読んでから測定を行ってください。正しく測定するため、使用方法とメンテナンスについては全ての指示に従い、注意事項を守ってください。
- 構成品に不足がないか、破損や変形している部品がないか確認してください。
- コントアネクスト Link2.4測定器には、必ずコントアネクスト センサーをご使用ください。
- コントアネクスト センサーは他のボトルなどに移し替えないでください。血糖センサーを取り出したら直ぐにボトルのふたをしっかりと閉めてください。ボトルは血糖センサーを乾燥した状態で保管できるようになっています。測定器と血糖センサーは過度の湿気、熱、冷気、埃、汚れを避けて保管・管理してください。ボトルのフタを開けたままにしておいたり、他のボトルなどに移し替えて保管したりすると室内の湿気により、血糖センサーが劣化し、測定結果が不正確になるおそれがあります。傷が見られる血糖センサーや使用済み血糖センサーを使用しないでください。
- 血糖センサーの使用期限を確認してください。ボトルラベルおよび個装箱に印刷された使用期限を過ぎている血糖センサーを使用しないでください。使用期限を過ぎていると不正確な測定結果が出る場合があります。
- 測定器は5°C–45°Cの温度で正確な測定結果が出るようになっています。この温度範囲外の環境で測定をしないでください。測定器を別の場所に移動させる場合、移動場所の温度になじませるように約20分間置いてから血糖測定を行ってください。
- 一部のコンピュータのUSBポートやセルフパワーUSBハブは、室温よりもかなり熱くなることがあります。熱から測定器を守るため、それらに接続する場合にはUSB延長ケーブルを使用してください。
- コントアネクスト Link2.4測定器をコンピュータに接続しているときは血糖測定ができません。
- コントアネクスト Link2.4測定器の充電には、電源供給可能なUSBポートあるいはPSEマーク付の5 V充電器のみをご利用ください。
- コントアネクスト Link2.4測定器は、mg/dL(デシリットル当たりのミリグラム数)で表示します。

例: 93^{mg/dL}

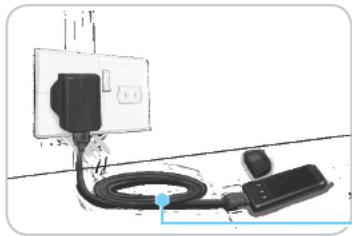
- ❖ ディスプレイの測定結果が正しく表示されているか確認してください。正しく表示されていないときは、取扱説明書の裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。
- コントアネクスト Link2.4 血糖測定システムの測定範囲は、20 mg/dL–600 mg/dLです。
 - ❖ 測定結果が20 mg/dLを下回る場合、あるいは600 mg/dLを超える場合：
 - 血糖測定値が20 mg/dLを下回る場合、「直ちに主治医の指示を仰いでください」と表示され、「ピー」という音が2回鳴ります。主治医に連絡をしてください。
 - 血糖測定値が600 mg/dLを超える場合、再測定を指示するメッセージが表示され、「ピー」という音が2回鳴ります。再測定結果が再度600 mg/dLを超えている場合、「直ちに主治医の指示を仰いでください」と表示されます。

注意：コントアネクスト Link2.4測定器には、必ずコントアネクスト センサーをご使用ください。

充電式電池

コントアネクスト Link2.4測定器は充電式電池を内蔵しています。電池の充電は測定器使用前に行ってください。充電中は血糖測定ができません。

コンセントあるいはコンピュータによる測定器充電



- USB保護キャップを外します。
 - 測定器のUSBプラグを、USB延長ケーブルを使って電源供給可能なUSBポートに差し込みます。
- 測定器の充電が完了したら血糖センサーポートライトの点滅が止まります。

USB延長ケーブル

注意：測定器が外部デバイス（コンピュータ等）と接続しているときは血糖測定ができません。

注記：測定器は急速充電できます。急ぎの場合、1分間充電してください。血糖測定が1回できます。

- USB保護キャップを外します。



- USB延長ケーブルを使用してコンピュータと接続します。
- コンピュータがオンになっていること、スリープや休止あるいはパワーセーブモードになっていないことを確認してください。

注意：一部のコンピュータのUSBポートやセルフパワーUSBハブは、室温よりもかなり熱くなることがあります。コンピュータの熱から測定器を守るためUSB延長ケーブルを使用してください。

目次

コントアネクスト Link2.4血糖測定システム	3
コントアネクスト センサー	3
測定器の概要	4
初期設定	5

測定の準備	9	別の部位での測定 (AST) 一手のひら	14
穿刺器具の準備	9	使用後の穿刺針の取り外しと廃棄	16
血糖センサーの準備	10	測定結果一期待値	17
血液の採取一指先での測定	11	血糖値が高い/低い場合の警告画面	18
測定結果	12	暗い場所での測定	18
インスリンポンプに測定結果を送信	12	コントロール液による測定	19

オートログ (測定結果のマーキング)	21
測定タイマー	22
メモ	24

測定履歴	25	ブザー音	31
最近の傾向 (平均値およびサマリー)	26	オートログ	31
各種設定	27	目標範囲	33
測定タイマー	28	傾向の対象期間	35
日付と時刻	29	警告の範囲	35
		言語の設定	36
		カスタマーサービス	36

インスリンポンプとの接続	37
インスリンポンプにボーラス量を送信	43
日付および時刻の設定 (インスリンポンプと接続している場合)	45
インスリンポンプ情報の削除	46

エラー検出画面	47	測定器の手入れ	56
電池の状態	48	測定器の清掃・消毒	56
高/低血糖の症状	50	関連製品	57
テクニカル情報	51	参考文献	57
メンテナンス情報	53	保証	58
使用マーク	54	索引	60
システムの仕様	55		

はじめに

コントアネクスト Link2.4血糖測定システム

コントアネクスト Link2.4測定器には、コントアネクスト センサーをご使用ください。



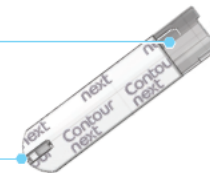
警告

小児の手が届かないところに保管してください。誤飲すると窒息するおそれがあります。

コントアネクスト センサー

コントアネクスト センサーの電極部
この電極部を上にしてセンサーポートに挿入します。

血液吸引部
血液サンプルがここから吸引されます。



注意： コントアネクスト Link2.4測定器には、必ずコントアネクスト センサーをご使用ください。

測定器の概要

測定器のオン/オフ

- 測定器上部のメニューボタンの長押しで測定器のオン/オフができます。
- 血糖センサーを差し込むと測定器はオンになります。
- 3分間何も操作をしなければ測定器はオフになります。

測定器上部のメニューボタンの機能

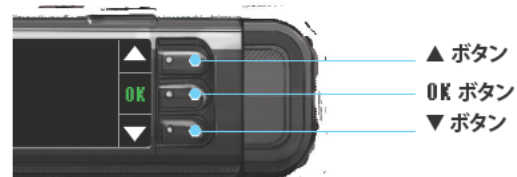


メニューボタン

測定器上部のメニューボタンには3つの機能があります：

- 測定器のオン/オフ：測定器上部のメニューボタンを長押しします。
- 操作中に前の画面に戻す：測定器上部のメニューボタンを1回押します。
- 血糖センサーポートライトのオン/オフ：測定器がオフの場合に測定器上部のメニューボタンを2回早く押します。

選択/スクロールボタンの機能



▲ ボタン

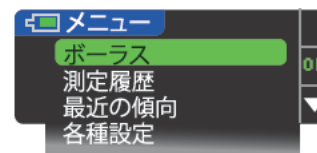
OK ボタン

▼ ボタン

- ディスプレイの横にあるこの3つのボタンで項目を選択できます（希望の項目の横にあるボタンを押します）。
- ディスプレイに▲または▼の矢印が表示されたら、別の項目にスクロールアップ/ダウンできます。
- 希望の項目が選択されたら OK ボタンを押します。

注記：▲または▼ボタンを長押しすると一覧を早くスクロールできます。

メインメニューの機能



メインメニューには次の4つの選択項目があります：ボークス、測定履歴、最近の傾向、各種設定。▲または▼ボタンを押して希望の項目までスクロールします。希望の項目が選択されたらOKボタンを押します。

注意：測定器がUSBポートから取り外されている状態で、設定を開始してください。

初期設定



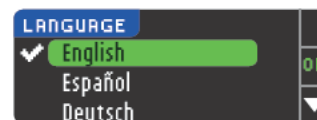
1. 使用前に測定器を100%まで充電しておきます。ivページを参照ください。

電源を入れる

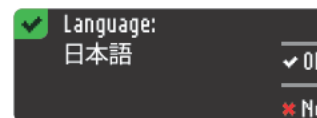


2. 測定器上部のメニューボタンを測定器の電源が入るまで長押しします。ディスプレイに表示が出た後にLanguage（言語）選択画面が表示されます。

言語の設定



3. ▼ボタンを押せばさらに言語の選択肢が表示されます。希望の言語が選択されたらOKボタンを押します。



4. OK ボタンを押して確定させます。希望する言語でなければ No ボタン を押します。

警告の範囲

警告の範囲では、測定結果が設定した数値を超えているまたは下回っているの場合に通知をします。上限値を超えている測定結果は「設定範囲より高い値」と表示されます。下限値を下回っている測定結果は「設定範囲より低い値」と表示されます。警告は大きなオレンジ色の数値で表示されます。

注記：警告の範囲は、選択した目標範囲外の数値でなければ設定できません。詳細は、お問い合わせ先までお問い合わせください。お問い合わせ先は裏表紙に記載されています。



警告

測定器の警告の範囲を設定する前に主治医にご相談ください。

警告の範囲		?
上限値:	250 mg/dL	OK
下限値:	70 mg/dL	変更

7. 既定の警告の範囲でよければ **OK** を選択します。既定の警告の範囲を変更したいときは **変更** を選択します。既定の警告の上限値は250mg/dL、下限値は70 mg/dLです。

警告の範囲		
上限値:	250 mg/dL	OK
下限値:	70 mg/dL	

8. **変更** を選択した場合、▲または▼ボタンを押して警告の範囲の上限値を選択します。上限値は126-360 mg/dLの範囲内で設定できます。**OK**ボタンを押します。

警告の範囲		
上限値:	251 mg/dL	OK
下限値:	70 mg/dL	

9. ▲または▼ボタンを押して警告の範囲の下限値を選択します。下限値は54-99 mg/dLの範囲内で設定できます。**OK**ボタンを押します。

注記：▲または▼ボタンを長押しすると数値を早くスクロールできます。

設定完了		
上限値:	251 mg/dL	OK
下限値:	69 mg/dL	変更

10. 次の画面で設定値を確認します。**OK**ボタンを押して警告の範囲を確定します。

日付と時刻の表示形式

ここでは測定器に表示される日付と時刻の表示形式を選択します。表示された日付と時刻の表示形式を承諾するか変更するか選択します。

日付		?
選択	月/日/年	
	日.月.年	

5. 測定器に **日付** の画面が表示されます。希望の日付の表示形式を選びます。

オートログ

オートログ機能では測定結果に以下のマーカを付けることができます。

☒ 空腹時	☐ 食前	☐ 食後	選択しない
--------------------------------------	--------------------------	--------------------------	-------

初期設定時、オートログはオフになっています。

オートログ		?
オートログはオフです	OK	
	オン	

6. オートログ画面が出たときに **OK** ボタンを押せばオートログはオフのままです。オートログをオンにするときはオンを選びます。

目標範囲

次に血糖値の目標範囲を承諾するか尋ねられます。目標範囲とは目標とする血糖測定値の範囲です。オートログがオフのときは、目標範囲は1つだけ設定できます。オートログがオンのときは、空腹時、食前、食後の目標範囲が設定できます。

注記：目標範囲は、選択した警告の範囲内の数値でなければ設定できません。詳細は、お問い合わせ先までお問い合わせください。お問い合わせ先は裏表紙に記載されています。

警告

測定器に目標範囲を設定する前に主治医にご相談ください。

目標範囲

70 - 180

OK
変更

11. オートログがオフのときは、既定の目標範囲を承諾 (OK) または 変更 します。既定の目標範囲は 70-180 mg/dL です。

目標範囲

空腹時:
70 - 130

OK
変更

オートログがオンのときは、空腹時、食前、食後の既定の目標範囲を承諾 (OK) または 変更 します。どの目標範囲も承諾 (OK) または 変更 できます。

オートログがオンの場合、コントアネクスト Link2.4測定器は以下の目標範囲にあらかじめ設定されています。

○	空腹時	70 - 130 mg/dL
🍎	食前	70 - 130 mg/dL
🍷	食後	70 - 180 mg/dL

目標範囲

75 - 180

OK

12. 目標範囲を変更するときは希望の数値になるまで ▲または▼ボタンを押し、次に OKボタンを押します。確認画面でOKボタンを押します。設定値はあとから変更可能です。変更する場合、メインメニューに進んで各種設定を選択します。33ページを参照ください。

✓ 設定が完了しました
測定する場合は血糖センサーを挿入してください

これで初期設定が完了しました。血糖値を測定することができます。次のページの測定操作をご覧ください。

測定

測定の準備

① コントアネクスト Link2.4の取扱説明書、穿刺器具の添付文書、その他関連する機器等の取扱説明書に目を通してから測定を行ってください。
構成品に不足がないか、破損や変形している部品がないか確認してください。

注意：コントアネクスト Link2.4測定器には、必ずコントアネクスト センサーをご使用ください。

測定を行う前に測定に必要なものを全て揃えておきます。必要なものとしては、コントアネクスト Link2.4測定器、コントアネクスト センサー、穿刺器具があります。

- 測定器が外部デバイス（コンピュータ等）と接続しているときは血糖測定をしないでください。
- コントアネクスト Link2.4測定器の充電には、電源供給可能なUSBポートあるいは、PSEマーク付の5 V充電器のみをご利用ください。

穿刺器具の準備

警告

穿刺器具は個人使用限定の自己測定用ツールです。感染リスクがあるため、複数の人で共用しないでください。

⊗ 測定ごとに新しい穿刺針を使用してください。使用後は血液等が付着している可能性があります。

詳しい説明は穿刺器具の添付文書をご覧ください。

血糖センサーの準備



警告

測定の前後、および測定器や穿刺器具や血糖センサーの取り扱いの前後には、必ず手を石鹸と流水でよく洗って水気を拭き取ってください。



1. コントアネクスト センサーをボトルから取り出します。血糖センサーを取り出したら直ぐにボトルのフタをしっかりと閉めます。



2. コントアネクスト センサーの電極部を上に出します。
3. この電極部を測定器のセンサーポートに「ピー」という音が鳴るまで差し込みます(設定でブザー音をオンにしている場合)。



血液を点着 画面が表示されます。これで測定器の測定準備が完了しました。

注記：血糖センサー挿入後、1分間のうちに血液を点着しないと測定器のディスプレイが暗くなり、「ピー」という音が2回鳴ります。いずれかのボタンを押せば血液を点着画面が再度明るくなります。3分間何も操作をしなければ測定器はオフになります。

血液の採取－指先での測定

1. 穿刺器具を使用して採血を行います。



2. 血液が球状になるまで穿刺部位に向かって手指をさすります。穿刺部位の周辺を強く押さないでください。



3. 十分な血液が出たら直ぐに測定します。



4. 速やかに血糖センサーの先端を血液部分に当てます。血液は先端から血糖センサーに吸引されます。

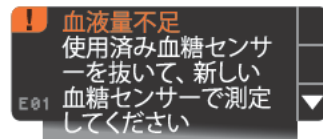
測定器から「ピー」という音が鳴るまで血糖センサーの先端を血液部分に当てておきます。

血糖センサー先端を皮膚に押し付けたり、血液を血糖センサーの上から垂らしたりしないでください。不正確な測定結果やエラーが出ることがあります。

血液の追加点着



最初に吸引した血液量が少ないと測定器から「ピー」という音が2度鳴り、「**血液量不足**」と「**血液を追加してください**」のメッセージが表示されます。約30秒間のうちに同じ血糖センサーに血液を再点着させることができます。



30秒以内に十分な血液量を点着しなければ、ディスプレイに血糖センサーを抜いて新しい血糖センサーで再測定をするように指示が出ます。

測定結果

オートログオフでの測定



オートログがオフの状態では血糖センサーに血液を点着すると、測定結果は5秒のカウントダウン後に表示されます。



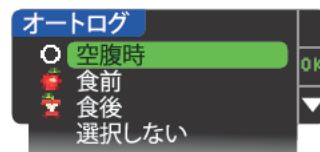
インスリンポンプに測定結果を送信

送信設定で自動送信を選択していれば、測定結果はポンプに自動的に送信されます。送信設定で手動送信を選択していれば、測定結果を**送信する**または**送信禁止**を選択します。送信設定については、本書42ページを参照してください。



注記：必ずポンプの画面を確認し、表示されている血糖値が測定器の測定結果と一致していることを確かめてください。

オートログオンでの測定



血糖センサーに血液点着後、▼で**空腹時**、**食前**、**食後**あるいは**選択しない**を選択して**OK** ボタンを押します。(選択しないはスクロールダウンして表示します。)

注記：

- 測定結果はオートログの選定をするまで表示されません。
- 測定結果が警告の範囲の設定値を超えている、あるいは下回っている場合には、ボタンを押さなくても測定結果が表示されます。

○ 空腹時	空腹時マーカーは、8時間以上食事や砂糖の入った飲み物を摂っていない状態の測定時に使用します。
🍎 食前	食前マーカーは、食事前の測定時に使用します。
🍽️ 食後	食後マーカーは、食事後の測定時に使用します。
選択しない	食事前後や空腹時以外の測定では 選択しない を選択できます。

オートログの選定操作が早いと、測定カウントダウンの残り時間が見えることがあります。



測定結果がまず大きな数字で表示され、次に通常の測定結果画面が現れます。

別の部位での測定 (AST) — 手のひら



警告

- 別の部位での測定をするときは事前に主治医にご相談ください。

重要注意事項： コントアネクスト Link2.4測定器では指先の測定と手のひらでの測定ができます。別の部位で採血が出来る穿刺器具の添付文書をご確認ください。

重要注意事項： 以下の場合、別の部位での測定は行わないでください：

- 血糖値が低いと感じるとき
- 血糖値が急速に変化しているとき（食後やインスリン投与後、あるいは運動後）
- 低血糖の症状を感知できないとき（低血糖を自覚していないとき）
- 別の部位で測定した結果が自分の感じたものと異なるとき
- 病気するとき、またはストレスを感じているとき
- これから車や機械の運転・操作をするとき

血糖値が急速に変化しているときは（例：食後やインスリン投与後、あるいは運動中や運動後）、別の部位での測定結果が指先の測定結果と異なることがあります。

また血糖値が指先の血糖値ほど上昇・低下しないことがあります。そのため、指先での測定結果は別の部位での測定結果よりも速やかに低血糖を検出すると考えられます。

別の部位での測定は、食事や糖尿病に対する薬物治療、運動から2時間以上経っている場合に限定して推奨されています。

別の部位での測定時の血液の採取



1. 手と穿刺部位を石鹸とぬるま湯で洗います。丁寧にすすいで水気をきれいに拭き取ります。
2. 別の部位で採血が出来る穿刺器具を準備します。



3. 手のひらの肉厚なところを穿刺部位として選び採血をします。血管、ホクロ、骨、腱のあるところは避けてください。採血の方法については、穿刺器具の添付文書をご覧ください。

4. 少量の血液が球状になれば直ぐに測定します。

速やかに血糖センサーの先端を血液部分に当てます。血液は先端から血糖センサーに吸引されます。

以下のような場合、手のひらの血液を使用して測定しないでください。

- 滲んだ血
- 凝固した血
- 垂れている血
- 血液以外の透明な液体と混じった血



血液量不足

血液を追加してください

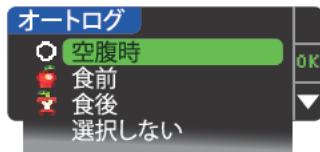
! 血液量不足

使用済み血糖センサーを抜いて、新しい血糖センサーで測定してください

5. 測定器から「ピー」という音が鳴るまで血糖センサーの先端を血液部分に当てておきます。血糖センサー先端を皮膚に押し付けたり、血液を血糖センサーの上から垂らしたりしないでください。不正確な測定結果やエラーが出ることがあります。

最初に吸引した血液量が少ないと測定器から「ピー」という音が2回鳴り、「血液量不足」と「血液を追加してください」のメッセージが表示されます。約30秒間のうちに同じ血糖センサーに血液を再点着させることができます。

30秒以内に十分な血液量を点着しないときは、血糖センサーを抜いて新しい血糖センサーで再測定をします。



6. オートログ機能をオン状態にしていれば、オートログ画面が表示されます。○**空腹時**, 🍎**食前**, 🍽️**食後**, または **選択しない**を選択し、希望の項目が選択されたら**OK** ボタンを押します。**選択しない**は▼ボタンを押してスクロールし表示します。

注記：

- 測定結果はオートログの選定をするまで表示されません。
- 測定結果が警告の範囲の上限値を超えているか、下限値を下回っているときは、オートログの選定をしなくても測定結果が表示されます。



警告

- AST測定結果に基づいてボーラスを計算しないでください。
- AST測定結果に基づいて持続グルコースモニタを較正しないでください。

操作が終了したら血糖センサーを測定器から抜きます。測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオフにします。3分間何も操作をしなければ測定器は自動的にオフになります。

使用後の穿刺針の取り外しと廃棄

1. 穿刺針の取り外しと廃棄については、穿刺器具の添付文書をご覧ください。



警告

- 使用済み穿刺針は医療廃棄物として、あるいは医療関係者の指示に従って廃棄してください。
- 🚫 穿刺針を再使用しないでください。測定ごとに新しい穿刺針を使用してください。



警告

- 血糖センサーと穿刺針は医療廃棄物として、あるいは医療関係者の指示に従って廃棄してください。ヒトの血液に接触する全ての製品は、感染性疾患の感染の可能性があるものとして取り扱ってください。
- 穿刺針の正しい取り外し方、廃棄方法は穿刺器具の添付文書をご覧ください。

測定結果—期待値

血糖値は、食事、薬の服用量、健康状態、ストレス、活動に応じて変動します。糖尿病にかかっていない人の血漿グルコース濃度は通常、空腹時で約70-110 mg/dLという比較的狭い範囲で安定しています。⁶



警告

- 目標とする血糖値は主治医とご相談ください。
- 血糖測定値が50 mg/dLを下回ったときは、直ちに主治医の指示を仰いでください。
- 血糖測定値が250 mg/dLを超えたときは、手をよく洗い水気を拭き取ってから新しい血糖センサーで再測定を行ってください。同じような測定値が出たときは、直ちに主治医の指示を仰いでください。
- 測定結果に基づいて薬物治療を変更する前に必ず主治医にご相談ください。

血糖値が高い/低い場合の警告画面

測定器にはあらかじめ警告の範囲の下限値として70 mg/dL、上限値として250 mg/dLが設定されています。これらの数値は既定値であり、ご利用者や主治医により変更可能です。警告の範囲はメインメニューの各種設定オプションで変更可能です（35ページ参照）。

血糖測定値が警告の範囲の下限値を下回った場合：

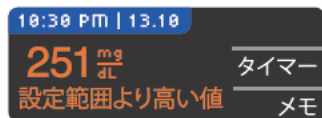


- 血糖値が低いことを知らせるオレンジ色の大きな数値がディスプレイに表示されます。

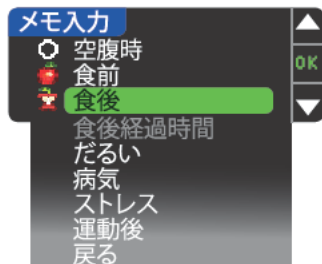
血糖測定値が警告の範囲の上限値を超えた場合：



- 血糖値が高いことを知らせるオレンジ色の大きな数値がディスプレイに表示されます。



- オートログがオン状態で、警告の表示前に測定結果にマーカーを付けていないときは **メモ** を選択します。



- ▲または▼ボタンを押して選択項目をスクロールします。
- 希望の項目が選択されたら **OK** ボタンを押します。

暗い場所での測定

暗い場所でも測定ができるように測定器のセンサーポートにはライトが付いています。

- 測定器がオフ状態のとき、測定器上部の **メニューボタン** を2回早く押すとセンサーポートライトが点灯します。（再びメニューボタンを2回早く押すとセンサーポートライトは消えます。）
- 血糖センサーを挿入すると、ディスプレイが表示されます。
- 血糖センサーに血液を点着するとライトは消えます。
- 測定を続けます。

コントロール液による測定



使用前に必ず、ボトルを振ってよく混ぜて使用ください。攪拌が不十分な場合は、不正確な結果を引き起こす可能性があります。

注意： コントアネクスト®コントロール液はNormal（正常域）、Low（低値域）、High（高値域）の3種類あり、本グルコース測定器にはコントアネクスト®コントロール液を必ずご使用ください。コントアネクスト®コントロール液以外は正しく測定できませんので使用しないでください。

コントロール液テストの推奨実施タイミング

- 初めて測定器を使用するとき。
- 新しく開封した血糖センサーボトルの血糖センサーを初めて使用するとき。
- 測定器が正常に機能していないと思われるとき。
- 繰返しの血糖測定で、予想外の結果になるとき。



- コントロール液の結果で使用中の持続グルコースモニタの校正をしないでください。
- コントロール液の結果に基づいて、ボアラスを計算しないでください。

注意： センサー及びコントロール液ボトルに記載されているセンサーとコントロール液の使用期限を確認し、期限切れの場合は使用しないでください。

Normal（正常域）、Low（低値域）、High（高値域）のコントロール液は、それぞれ別途用意していますので、関連製品お問い合わせ先にご連絡ください。関連製品お問い合わせ先は、本書関連製品のページを参照してください（57ページ参照）。



- 血糖センサーをボトルから取り出します。血糖センサーを取り出したらすぐにボトルのふたをしっかりと閉めます。



- 血糖センサーの電極部を上に出します。
- この電極部を測定器のセンサーポートに「ピー」という音が鳴るまで差し込みます（設定でブザー音をオンにしている場合）。



- 血液を点着画面が表示されます。これで測定器の測定準備が完了しました。

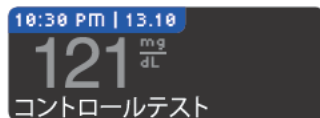


- 使用前に必ず、ボトルを振ってよく混ぜます。
- キャップを外し、滴下する前にボトル先端に付着している液をティッシュペーパー等で拭き取ります。
- 清潔で吸収性のない食品用アルミ箔やラップフィルムなどにコントロール液を一滴垂らします。

コントロール液を指先に滴下したり、ボトルから直接点着したりしないでください。



- コントロール液を滴下後、すみやかに血糖センサー先端を接触させます。
- 測定器から「ピー」という音が鳴るまで、血糖センサーの先端を滴下したコントロール液に当てておきます。



- オートログがオンの場合、オートログ画面を表示すると共にコントロール液を検知します。測定器は5秒のカウントダウン後、測定結果を表示します。自動的に「コントロールテスト」としてマーキングし、テスト結果をメモリに格納します。コントロールテストの結果は、血糖平均値の計算には含まれません。



- コントロールテスト結果とセンサーボトルラベルに記載されている管理範囲を比較してください。
- 血糖センサーを抜き取ります。メニューボタンを長押しするか、3分間放置すれば電源が切れます。使用済みの血糖センサーは医療廃棄物として、または医療関係者のアドバイスに従って処分してください。

注記：「コントロールテスト」としてマーキングされているコントロールのテスト結果はポンプに送信されません。



警告

- コントロール液はここに記載されている用途以外では使用しないでください。
- コントロール液は飲んだり注射したり点眼したりしないでください。

注意：コントロールテスト結果が範囲内に収まらない場合は、裏表紙に記載のお問い合わせ先にご連絡ください。また問題が解決されるまで、その測定器とセンサーを測定に使用しないでください。

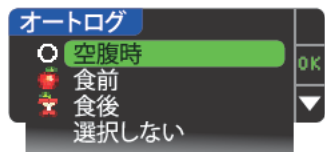
機能

コントアネクスト Link2.4測定器は多くの測定管理機能を搭載しています。

オートログ（測定結果のマーキング）

測定器には測定結果を 空腹時、 食前、 食後で表示するオートログ機能が付いています（「選択しない」という選択項目もあります）。

測定器はあらかじめオートログがオフの設定となっています。空腹時、食前、食後の測定結果を表示したいときは、この機能をオンにします（31ページ参照）。



各種設定でオートログをオンにしておくと、測定結果が表示される前にオートログ画面が現れます。しかし測定結果が警告の範囲の上限値を超えているか、下限値を下回っているときは、オートログを選定しなくても測定結果が表示されます。

測定タイマー

次回測定用のタイマーは、測定後または各種設定メニューで設定できます（28ページ参照）。
タイマーは15分単位で15分から23時間45分の範囲で設定できます。

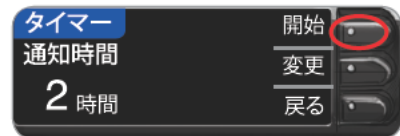
測定タイマーの設定



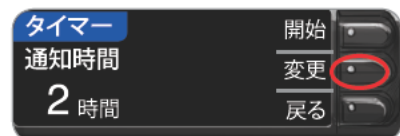
1. 血糖センサーを測定器に挿入したまま **タイマー** を押します。



または 各種設定メニューで ▼ボタンを押して **タイマー：オフ** を選択します。OKボタンを押してタイマーをオンにします。



2. **開始** ボタンを押して通知時間のカウントダウンを開始します。あらかじめ2時間に設定されています。変更をしている場合は前回設定したタイマー時間が記憶されています。

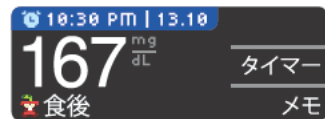


タイマーの通知時間は **変更** ボタンを押すと変更できます。

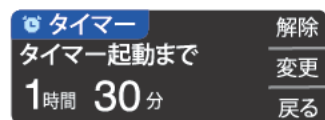
測定タイマーのオフ

タイマーは測定後または各種設定メニューでオフにすることや変更ができます。

注記：設定したタイマー時間の15分前以内に測定を行う場合、タイマーは自動的に解除されます。



1. **タイマー** ボタンを押します。通知時間のカウントダウンが進行中であれば「**タイマー起動まで**」という表示と残り時間が出てきます。



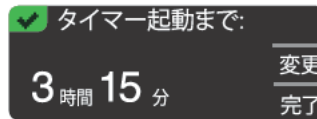
2. 通知時間のカウントダウンを停止するときは **解除** ボタンを押します。確認画面が表示され、通知時間のカウントダウンが停止します。

タイマー時間の変更

1. ▲または ▼ボタンを押して希望する時・分を選択します（15分単位）。



2. 選択ごとに **OK** ボタンを押します。



ディスプレイにタイマー起動までの時間を表示します。

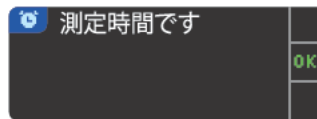
タイマー機能をオンにすると各種設定画面とメインメニュー画面のヘッダーに時計マークが表示されます。

タイマー時間を変更やオフにしない限り、測定器は設定したタイマー時間を記憶しています。

タイマーの通知

タイマー時間になると通知音が20回鳴ります。測定器がオンし、タイマー画面が表示されます。

お知らせ音の停止方法は2つあります。



1. **OK** ボタンを押し、血糖センサーを挿入して測定を行う。あるいは
2. 血糖センサーを挿入して測定を行う（9ページ参照）。

注記：タイマー時間の15分前以内に測定を行うと通知時間のカウントダウンが停止します。

メモ

測定結果の情報を分かりやすくするメモを測定結果に付けることができます。メモは測定履歴に保存されます。メモ入力には測定結果が出てからでないと選択できません。

1. 測定結果画面で **メモ** ボタンを押します。



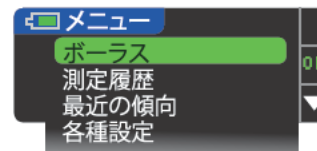
2. ▲ または ▼ ボタンを押して選択項目をスクロールします。選択項目のなかにはスクロールダウンしないと見えない項目もあります。希望の項目が選択されたら **OK** ボタンを押します。ディスプレイに選択項目を表示します。

注記：食後を選択した場合、食後経過時間を選択することができます。食後経過時間を選択し、15分から3時間の範囲で時間を選びます。

確認画面が消えたら、メモの削除や、上記の操作を繰り返して1件または複数のメモを追加することができます。メモは▼ボタンを押すとスクロールするので全ての内容を読むことができます。メモは複数追加できますが、オートログのオプションは1つしか選ぶことができません（空腹時、食前、食後）。

メインメニューの機能

メインメニューから4つの機能が選択できます。ボークスについては、本書43ページを参照してください。測定履歴、最近の傾向、各種設定については、以下を参照してください。項目を選択するには▲または▼ボタンで希望の項目までスクロールします。希望の項目が選択されたら **OK** ボタンを押します。



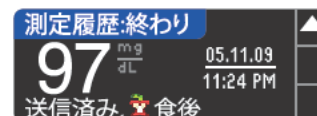
測定履歴

測定履歴には血糖測定結果と測定結果に付けたメモが保存されます。測定履歴には1000件まで測定結果を保存できます。1000件になると最新の測定が終了した時点でいちばん古い測定結果が削除され、最新の測定結果が測定履歴に保存されます。

1. 測定履歴に保存された測定結果を表示するときは測定器上部の **メニュー** ボタンを長押しして測定器の電源を入れます。
2. ▼ ボタンを押して測定履歴を選択します。 **OK** ボタンを押します。



3. ▼ ボタンで保存した全ての測定結果をスクロールできます。



いちばん古い測定結果までいくと測定履歴：終わりの表示が出ます。

最新の傾向（平均値およびサマリー）

最新の傾向機能では、設定した期間中の平均値と測定結果を目標範囲と比較して表示します。オプションとして、7、14、30、90日間の平均値が出せます。初期設定では14日間の平均値を表示するように設定されていますが、各種設定メニューの傾向の対象期間で変更することができます（35ページ参照）。

注記：90日間の平均値はヘモグロビンA1cの結果を反映するものではありません。

ディスプレイには測定結果の総数、平均値、目標範囲を超えた測定値数 ↑、目標範囲内の測定値数 ✓、目標範囲を下回った測定値数 ↓ が表示されます。

最新の傾向の表示（オートログ：オフ）

測定器は14日間の平均値を表示するようにあらかじめ設定されています。傾向の対象期間は各種設定で7、30、90日に変更可能です。

1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器の電源を入れます。
2. ▼ボタンを押して **最新の傾向** を選択します。OKボタンを押します。



3. ▼ボタンを押して**全結果（過去14日間）**の画面を表示します。測定結果がない場合は**最新の測定結果がありません**の画面を表示します。

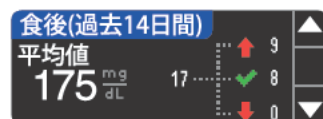
最新の傾向の表示（オートログ：オン）

1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器の電源を入れます。
2. ▼ボタンを押して **最新の傾向** を選択します。OKボタンを押します。

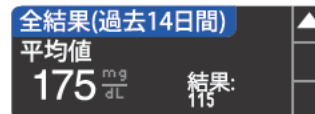


3. ▼ボタンを押して**空腹時(過去14日間)**の平均値を表示します。測定結果に空腹時のマーカーを付けていれば、最初に空腹時の平均値が出ます。
4. ▼ボタンを押して**食前(過去14日間)**の平均値に進みます。

この例では、食前平均値は128 mg/dLで、38回の測定の平均値であること、そのうち26回 ✓ は目標範囲に入り、8回 ↑ は目標範囲を超え、4回 ↓ は下回っていることを示しています。



5. ▼ボタンを押して**食後(過去14日間)**の平均値に進みます。



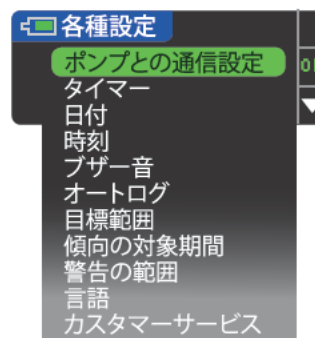
6. ▼ボタンを押して**全結果（過去14日間）**の画面に進みます。

注記：空腹時のマーカーがついた測定結果がない場合、空腹時の画面は表示されずに次に進みます。食前、食後の場合も同様です。

各種設定

各種設定画面で測定器のオプションの確認や変更ができ、カスタマイズすることができます。

1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器の電源を入れます。
2. ▼ボタンを押して **各種設定** を選択します。OKボタンを押します。



測定器の**タイマー**、**日付**、**時刻**、**ブザー音**、**オートログ**の現行設定は、各種設定メニュー項目をスクロールして確認することができます。その他の項目の設定を見るとき、あるいはいずれかの項目を変更するときは、▲と▼ボタンを使い、OKボタンを押せば選択できます。

測定タイマー

次回測定用のタイマーは、測定後または各種設定画面で設定できます。測定後の測定用のタイマーの設定は本書22ページをご覧ください。

タイマーの設定

1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器の電源を入れます。
2. ▼ ボタンを押して **各種設定** を選択します。OKボタンを押します。



3. ▼ ボタンを押して **タイマー：オフ** を選択します。OKボタンを押してタイマーをオンにします。



4. 表示されている既定の時間でよければ **開始** を選択します。時間を変更するときは**変更**を選択します。タイマー時間は15分単位で15分から23時間45分まで変更することができます。



5. 時間を変更したら **OK** ボタンを押します。分を変更したらOKボタンを押します。



6. 確認画面が表示されます。 **変更** または **完了** を選択します。

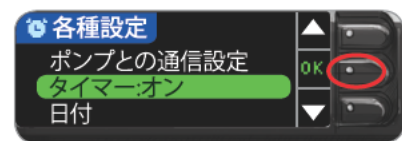
タイマー時間を承諾すると、タイマーアイコン が各種設定画面とメインメニュー画面のヘッダーに表示されます。

注記：タイマー時間の15分前以内に測定を行う場合、血糖センサーを挿入すると通知時間のカウントダウンが停止します。

タイマーをオフにする

タイマーをオフにするには、各種設定画面を使うか、タイマー時間の15分前以内に血糖測定を行います。各種設定画面を使う場合：

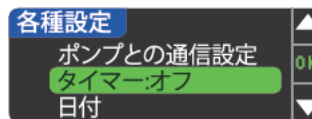
1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオンにします。
2. ▼ ボタンを押して **各種設定** を選択します。OKボタンを押します。



3. ▼ ボタンを押して **タイマー：オン** を選択します。OKボタンを押してタイマーをオフにします。



4. **解除** を選択します。確認画面が表示され、通知時間のカウントダウンが停止します。



5. これでタイマーはオフになりました。

日付と時刻

測定器とポンプを接続して **いない** 場合に限り、測定器側で日付と時刻を設定できます。測定器とポンプを接続していれば、日付と時刻はポンプ側で設定します。

日付の設定（他の機器と接続していない場合）

1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器の電源を入れます。
2. ▼ ボタンを押して **各種設定** を選択します。OKボタンを押します。



3. ▼ ボタンを押して **日付** を選択します。OKボタンを押します。



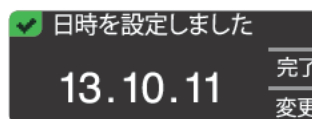
4. 日付を変更するときは **変更** ボタンを押します。



5. 月/日/年 または 日.月.年のどちらかの表示形式を選択します。



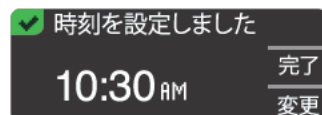
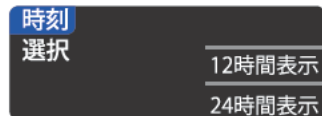
6. ▲または▼ボタンを押して正しい年、月、日を選択します。選択ごとにOKボタンを押します。



7. 画面上に入力された日付が表示されます。日付が正しければ**完了**ボタンを押します。

時刻の設定（他の機器と接続していない場合）

1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオンにします。
2. ▼ ボタンを押して **各種設定** を選択します。OKボタンを押します。



- ▼ ボタンを押して **時刻** を選択します。
OK ボタンを押します。
- 時刻を変更するときは **変更** ボタンを押します。
- 12時間表示** または **24時間表示** のどちらかを選択します。
- ▲ または ▼ ボタンを押して正しい時・分を選択します。選択ごとに **OK** ボタンを押します。
- 12時間表示** を選んだ場合、▲ または ▼ ボタンを押して **AM**、**PM** を選択し、**OK** ボタンを押します。
- これで時刻が設定されました。ディスプレイに選択項目を表示します。**完了** ボタンを押します。

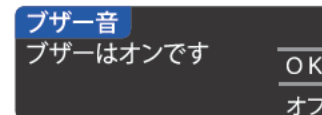
ブザー音 ブザー音のオン/オフ

測定器がお手元に届いた時点ではブザー音はオンになっています。いくつかのエラーメッセージとタイマーベルはブザー音オフ設定であっても鳴るようになっています。

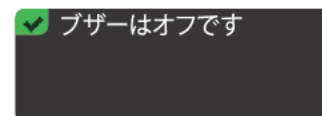
- 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオンにします。
- ▼ ボタンを押して **各種設定** を選択します。**OK** ボタンを押します。



- ▼ ボタンを押して **ブザー音** を選択します。**OK** ボタンを押します。



- ブザー音をオフにするときは **オフ** ボタンを押します。ブザー音をオンにしておくときは **OK** ボタンを押します。



ディスプレイに選択項目を表示します。

オートログ

注記：測定器はあらかじめオートログがオフの設定となっています。

オートログ機能では測定結果に以下のマーカーを付けることができます。

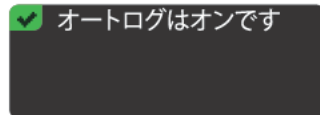
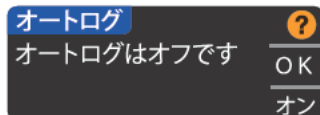


オートログをオンにする

- 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオンにします。
- ▼ ボタンを押して **各種設定** を選択します。**OK** ボタンを押します。



- ▼ ボタンを押して **オートログ** を選択します。**OK** ボタンを押します。



4. オン ボタンを押してオートログをオンにします。

ディスプレイに選択項目を表示します。

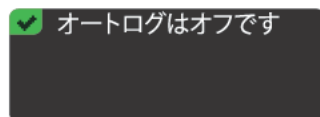
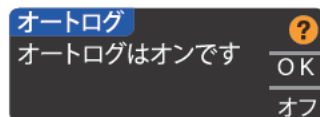
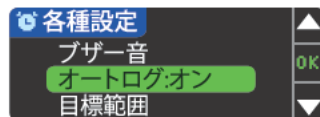
注記：

- ・オートログ設定をオンに変更する場合、空腹時、食前、食後の目標範囲設定を確認するように指示が出ます。
- ・測定結果はオートログの選定をするまで表示されません。
- ・測定結果が警告の範囲の設定値を超えている、あるいは下回っている場合には、ボタンを押さなくても測定結果が表示されます。

オートログをオフにする

注記：測定器はあらかじめオートログがオフの設定となっています。

1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオンにします。
2. ▼ ボタンを押して **各種設定** を選択します。OK ボタンを押します。



3. ▼ ボタンを押して オートログ を選択します。OK ボタンを押します。

4. OK ボタンを押せばオートログはオンのままです。オートログをオフにするときはオフを選びます。

ディスプレイに選択項目を表示します。

注記：オートログ設定をオフに変更する場合、目標範囲設定を確認するように指示が出ます。

目標範囲

目標範囲とは目標とする血糖測定値の範囲です。オートログがオフのときは、目標範囲は1つだけ設定できます。オートログがオンのときは、空腹時、食前、食後の目標範囲が設定できます。

注記：目標範囲は、選択した警告の範囲内の数値でなければ設定できません。詳細は、お問い合わせ先までお問い合わせください。お問い合わせ先は裏表紙に記載されています。



警告

測定器に目標範囲を設定する前に主治医にご相談ください。

オートログ：オフでの目標範囲の変更

オートログがオフであれば目標範囲は1つに限定されます。目標範囲は70-180 mg/dLにあらかじめ設定されています。

1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオンにします。
2. ▼ ボタンを押して **各種設定** を選択します。OK ボタンを押します。



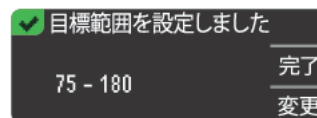
3. ▼ ボタンを押して **目標範囲** を選択します。OK ボタンを押します。



4. 目標範囲を変更するときは **変更** ボタンを押します。



5. ▲または ▼ ボタンを押して目標範囲のそれぞれの数値を変更します。選択ごとにOK ボタンを押します。



ディスプレイに選択項目を表示します。

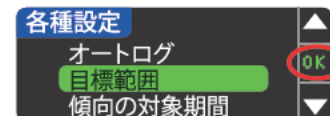
オートログ：オンでの目標範囲の変更

オートログがオンの場合、コントアネクスド Link2.4測定器は以下の目標範囲にあらかじめ設定されています：

	空腹時	70 - 130 mg/dL
	食前	70 - 130 mg/dL
	食後	70 - 180 mg/dL

目標範囲はご利用者や主治医が決めた目標範囲に変更することができます。

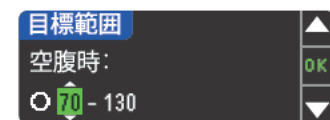
1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオンにします。
2. ▼ ボタンを押して **各種設定** を選択します。OKボタンを押します。



3. ▼ ボタンを押して **目標範囲** を選択します。OKボタンを押します。

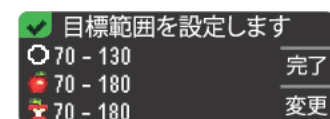


4. 空腹時の目標範囲を変更するときは **変更** ボタンを押します。変更しないときは **OK** ボタンを押します。



5. ▲または▼ボタンを押して希望の空腹時の目標範囲を選択します。選択ごとにOKボタンを押します。

6. この操作を食前の目標範囲の設定、食後の目標範囲の設定の順で行います。
7. 選択ごとにOKボタンを押します。



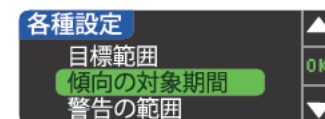
ディスプレイに設定した全ての目標範囲を表示します。

正しく設定されていれば **完了** ボタンを押し、各種設定画面に戻ります。変更するときは **変更** ボタンを押し、上記の操作を繰り返します。

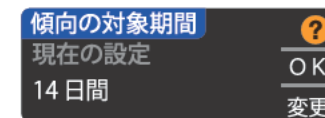
傾向の対象期間

最近の傾向機能では、設定した期間中の平均値と測定結果を目標範囲と比較して表示します。7、14、30、90日間の平均値が選択できます。測定器は14日間の平均値を表示するようにあらかじめ設定されていますが、各種設定で変更可能です。

1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオンにします。
2. ▼ ボタンを押して **各種設定** を選択します。OKボタンを押します。

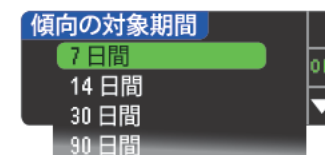


3. ▼ ボタンを押して **傾向の対象期間** を選択します。
4. OKボタンを押します。



5. 現在の設定が表示されます。現在の設定を承諾する (OK) が変更するか選択します。

注記：90日間の平均値はヘモグロビンA1cの結果を反映するものではありません。



6. ▼ ボタンで7、14、30、90日間を選択し、OK ボタンを押します。ディスプレイに選択項目を表示します。

警告の範囲

警告の範囲では、測定結果が設定した数値を超えているか、または下回っているときに通知をします。警告は大きなオレンジ色の数値で表示されます。上限値を超えている測定結果は「設定範囲より高い値」と表示されます。下限値を下回っている測定結果は「設定範囲より低い値」と表示されます。

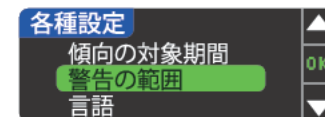
注記：警告の範囲は、選択した目標範囲外の数値でなければ設定できません。詳細は、お問い合わせ先までお問い合わせください。お問い合わせ先は裏表紙に記載されています。



警告

測定器に警告の範囲を設定する前に主治医にご相談ください。

1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオンにします。
2. ▼ ボタンを押して **各種設定** を選択します。OKボタンを押します。



3. ▼ ボタンを押して **警告の範囲** を選択します。OKボタンを押します。

警告の範囲	?
上限値: 250 mg/dL	OK
下限値: 70 mg/dL	変更

警告の範囲	▲
上限値: 251 mg/dL	OK
下限値: 70 mg/dL	▼

設定完了	
上限値: 251 mg/dL	完了
下限値: 69 mg/dL	変更

言語の設定

1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオンにします。
2. ▼ボタンを押して **各種設定** を選択します。OKボタンを押します。

各種設定	▲
警告の範囲	OK
言語	▼
カスタマーサービス	

言語	▲
Italiano	OK
日本語	▼
Norsk	

言語: 日本語	▼OK
	×いいえ

カスタマーサービス

お問い合わせ担当スタッフから指示があった場合のみ、選択してください。担当スタッフが、設定確認するための確認コードをお伝えします。お問い合わせ先は裏表紙に記載されています。

4. 既定の警告の範囲（あるいは初期設定時に選択した警告の範囲）の上限値および下限値を使用するときは **OK** を選びます。既定の警告の範囲の上限値は 250 mg/dL、下限値は 70 mg/dL です。
5. 違う警告の範囲にしたいときは **変更** を選びます。

6. ▲または ▼ボタンを押して希望の上限値および下限値を選びます。上限値は 126 - 360 mg/dL の範囲内で設定できます。下限値は 54 - 99 mg/dL の範囲内で設定できます。選択ごとに **OK** ボタンを押します。

注記：▲または ▼ボタンを長押しすると数値を早くスクロールできます。

7. 次の画面が表示されます。設定値を確認して **完了** ボタンを押します。

3. ▼ボタンを押して **言語** を選択します。OK ボタンを押します。

4. ▲または ▼ボタンを押して希望の言語を選択します。▼を押せばさらに言語の選択肢が出てきます。OK ボタンを押します。

5. 選択した言語が表示されていることを確認します。OK ボタンを押して確定させます。希望する言語でなければ **いいえ** ボタンを押して、上記のステップ4からやり直します。

インスリンポンプとの接続

1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオンします。
2. ▼ボタンを押して **各種設定** を選択します。OK ボタンを押します。

各種設定	OK
ポンプとの通信設定	▼
タイマー	
日付	

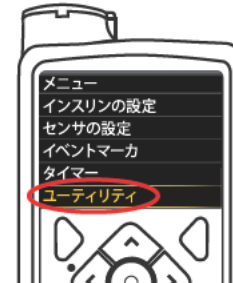
3. ▼ボタンを押してポンプとの**通信設定**を選択します。OK ボタンを押します。

通信設定	?
ミニメドポンプと未接続です	はい
接続しますか?	いいえ

4. はいボタンを押します。

ポンプとの接続	?
ポンプ側で「機器の接続」を選択してください	OK
	戻る

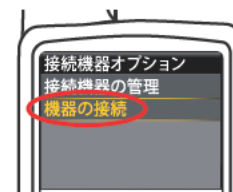
5. OK ボタンを押します。



6. ポンプの設定を行います。いずれかのボタンを押して画面をオンにし、次にメニューボタン [] を押します。下矢印ボタン [] を使ってユーティリティまでスクロールします。選択ボタン [] を押します。ポンプの画面がオフになったときは、いずれかのボタンを押せば復帰します。



7. ユーティリティメニューで下矢印ボタン [] を使って**接続機器オプション**までスクロールします。選択ボタン [] を押します。



8. 接続機器オプションメニューで下矢印ボタン [] を使って**機器の接続**までスクロールします。選択ボタン [] を押します。

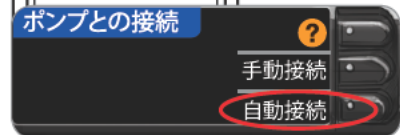
自動接続する場合、下記のステップ9に進んでください。

手動接続する場合、本書40ページのステップ9に進んでください。

自動接続



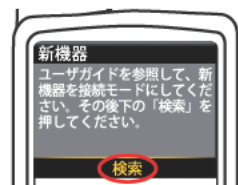
9. 測定器とポンプを並べます。ポンプ側の**自動接続**を選択します。



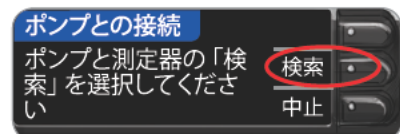
測定器側の**自動接続**を選択します。



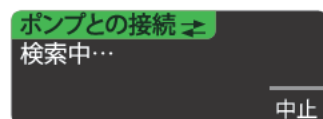
10. 下矢印ボタン で「自動接続」画面下部にスクロールダウンして**続行**を選択します。



11. 測定器とポンプを並べてから、ポンプ側の**検索**を選択します。



続けて、測定器側の**検索**を選択します。



検索には2分程度かかることがあります。



12. ポンプと測定器の画面に表示されたシリアル番号が一致していることを確認します。一致していればポンプ側の**確認**までスクロールします。選択ボタン を押します。

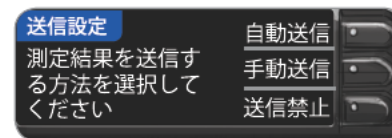
ポンプとの接続
ポンプでシリアル番号を確認してください:
BG1234567B

ポンプと測定器の接続が完了すると、ポンプのシリアル番号が表示されます。



13. ポンプの背面に記載されているシリアル番号が測定器の画面に表示されているポンプのシリアル番号と一致することを確認します。**次へ**を押します。

接続完了
ミニメドポンプと接続
できました:
AA1234567B
次へ
削除



14. **送信設定**を選択します。

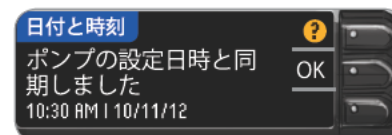
自動送信を選択すると、測定後自動的に測定結果がポンプに送信されます。

手動送信を選択すると、測定後、測定結果をポンプに送信するかどうかの確認画面が表示されます。

送信禁止を選択すると、測定結果はポンプに送信されません。

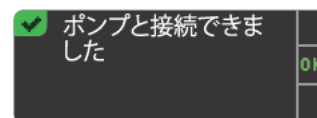


15. **日付の表示形式**を選択します。



16. **OK**ボタンを押します。

注記：時刻と日付が正しくないときは、ポンプ側で変更します。



17. **OK**ボタンを押します。

手動接続

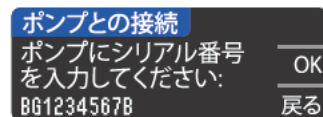
本書37ページのステップ1からステップ8までを実施してください。



9. 測定器とポンプを並べます。ポンプ側のマニュアル接続を選択します。
測定器側の手動接続を選択します。



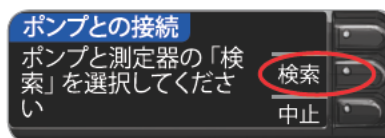
10. 測定器に表示されたシリアル番号をポンプに入力します。
上矢印ボタン および下矢印ボタン を使って文字を選択します。入力したい文字を選択したら、右矢印ボタン を押して次の文字に移動します。シリアル番号の最後の文字を入力したあと、選択ボタン を押します。そのあと、OKを選択します。



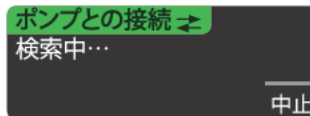
ポンプに測定器のシリアル番号を入力したあと、測定器でOKを選択します。



11. 測定器とポンプを並べてから、ポンプ側の検索を選択します。



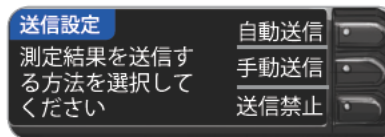
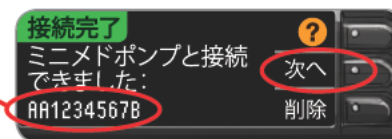
続けて、測定器側の検索を選択します。



検索には2分程度かかることがあります。



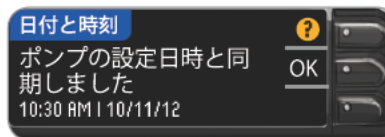
12. ポンプの背面に記載されているシリアル番号が測定器の画面に表示されているポンプのシリアル番号と一致することを確認します。次へを押します。



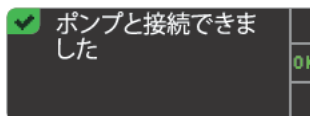
13. 送信設定を選択します。
自動送信を選択すると、測定後自動的に測定結果がポンプに送信されます。
手動送信を選択すると、測定後、測定結果をポンプに送信するかどうかの確認画面が表示されます。
送信禁止を選択すると、測定結果はポンプに送信されません。



14. 日付の表示形式を選択します。



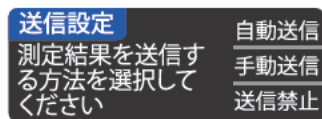
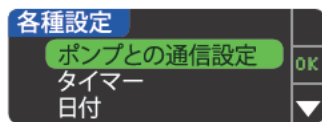
15. OKボタンを押します。
注記：時刻と日付が正しくないときは、ポンプ側で変更します。



16. OKボタンを押します。

ポンプの送信設定の変更

1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオンします。
2. ▼ボタンを押して**各種設定**をハイライト表示します。OKボタンを押します。



3. ▼ボタンを押してポンプとの**通信設定**を選択します。OKボタンを押します。

4. **送信設定**を選択します。

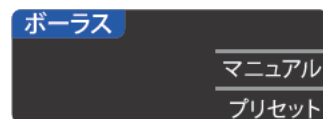
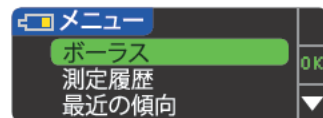
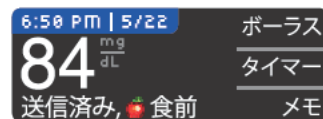
5. 希望の送信設定を選択します。

自動送信を選択すると、測定後自動的に測定結果がポンプに送信されます。

手動送信を選択すると、測定後、測定結果をポンプに送信するかどうかの確認画面が表示されます。

送信禁止を選択すると、測定結果はポンプに送信されません。

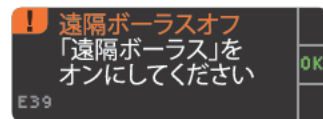
インスリンポンプにボーラス量を送信



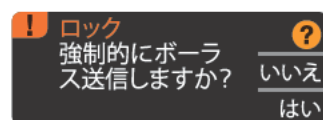
1. 測定器の測定結果画面、または、メインメニューで**ボーラス**を選択します。

2. 次の画面で、マニュアルボーラスまたはプリセットボーラスを選択します。

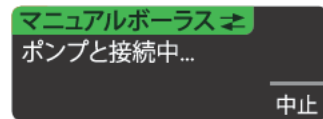
使用上の注意：お使いの測定器からボーラス量を送信するためには、お使いのポンプで遠隔ボーラス機能をオンする必要があります。遠隔ボーラス機能は、工場出荷設定でオンになっています。遠隔ボーラス機能のオン/オフの切り替えは、お使いのミニメド600シリーズインスリンポンプのユーティリティーメニュー、遠隔ボーラスより行います。遠隔ボーラス機能がオフの場合、測定器で下記の画面が表示されます。



お使いのポンプでロック機能がオンになっている場合、下記の画面が表示されます。



ロック機能は、ポンプとの無線通信を制限するためのポンプの設定です。ロック機能のオン/オフの切り替え方法については、お使いのミニメド600シリーズインスリンポンプのユーザガイドを参照してください。



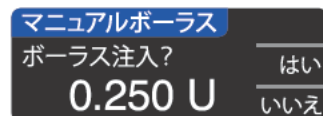
3. ポンプと接続するための画面が表示されます。

マニュアルボーラス量を送信する場合、次のステップ4に進んでください。
プリセットボーラス量を送信する場合、プリセットボーラスのステップ4に進んでください。

マニュアルボラス



使用上の注意：お使いの測定器のボラス量の増減幅は、お使いのポンプで設定できます。ボラス量の増減幅として0.1, 0.05, 0.025のいずれかを設定することができます。ボラス量の増減幅の設定方法については、お使いのミニメド600シリーズインスリンポンプのユーザガイドを参照してください。



- 次に、ボラス量を選択してください。
ご希望のボラス量を▲または▼ボタンを用いて設定します。ボラス量をより早く増減させるためには、▲または▼ボタンを長押しします。ご希望のボラス量が表示された後、OKを選択します。

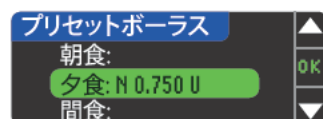
5. お使いのポンプへボラスを送信するためには、はいを選択します。

6. お使いの測定器とポンプの両方で、確認画面が表示されます。

使用上の注意：お使いの測定器で表示されるボラス量とお使いのポンプで表示されるボラス量の総量が一致していることを確認してください。

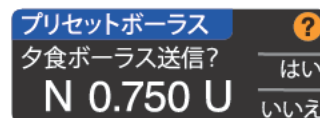
プリセットボラス

まず、本書43ページのステップ1, 2および3に従ってください。



- 次に、お使いのポンプに送信したいプリセットボラス設定を選択します。ご希望のプリセットボラス設定の選択肢が表示されるまで、▲または▼ボタンを押してください。そのあと、OKを選択します。

使用上の注意：プリセットボラス量はお使いのポンプで設定できます。プリセットボラス量の設定方法については、お使いのミニメド600シリーズインスリンポンプのユーザガイドを参照してください。



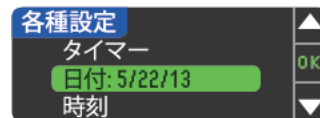
5. お使いのポンプにプリセットボラス設定を送信するためには、はいを選択します。

6. お使いの測定器とポンプの両方で、確認画面が表示されます。

日付および時刻の設定（インスリンポンプと接続している場合）

ポンプと接続している場合、お使いの測定器では日付の表示形式のみを変更することができます。日付および時刻は、ポンプと接続したとき、血糖測定結果を送信したとき、各種設定から同期を実行したときにポンプと同期されます。各種設定から日付および時刻の同期を行う場合は、以下の手順を実施してください。

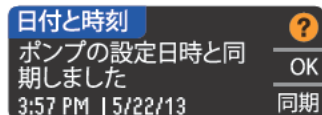
1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオンします。
2. ▼ボタンを押して各種設定をハイライト表示します。OKボタンを押します。



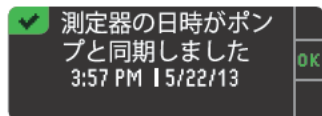
3. ▼ボタンを押して日付をハイライト表示します。OKボタンを押します。



4. 日付の表示形式を選択します。



5. 同期を選択します。



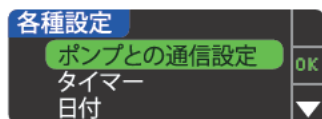
6. 確認画面が表示されます。各種設定に戻るためにOKを選択します。

注記：日付の表示形式の変更は測定器にのみ適用されます (ポンプには適用されません)。

インスリンポンプ情報の削除

測定器からポンプの情報を削除することができます。

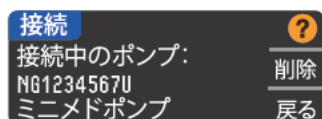
1. 測定器上部のメニューボタンを長押しして測定器をオンします。
2. ▼ボタンを押して**各種設定**をハイライト表示します。OKボタンを押します。



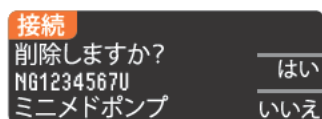
3. ▼ボタンを押してポンプとの**通信設定**をハイライト表示します。OKボタンを押します。



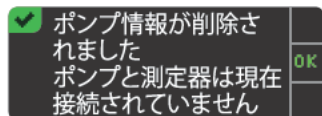
4. 接続設定を選択します。



5. 削除を選択します。



6. はいを選択します。



7. 確認画面が表示されます。各種設定に戻るためにOKを選択します。

使用方法およびメンテナンス

CareLink パーソナルへのデータ転送について



測定器に保存されている血糖測定結果を、簡単に、CareLinkパーソナルに転送することができます。

また、メドトロニック ミニメド600シリーズのインスリンポンプに保存されているデータを、ワイヤレスで、測定器を経由してCareLinkパーソナルに転送することができます。

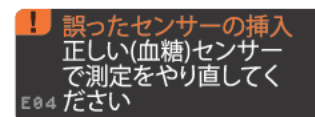
1. CareLinkパーソナルの設定方法や、必要なドライバをお使いのコンピュータにロードする方法については、CareLinkパーソナルのユーザガイドを参照ください。
2. CareLinkパーソナルを起動します。測定器を、USB延長ケーブルを使用してお使いのコンピュータに接続してください。CareLinkパーソナルは、測定器とメドトロニック ミニメド600シリーズのインスリンポンプを自動的に検出します。

重要: コントアネクストLink2.4測定器は、CareLinkパーソナルでのみ、正しく動作することが確認されています。もし、他のソフトウェアを使用して不具合が発生した場合、一切の責任を負わないものとします。

2017年5月現在、日本語版CareLinkパーソナルを利用することはできません。ご不明な点がございましたら、裏表紙のお問い合わせ先までご連絡ください。

エラー検出画面

- ・エラー画面は必ずその画面の左下に「E」の文字と数字を表示します。

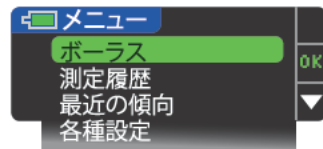


- ・測定器がエラーを検出すると（ハードウェア、ソフトウェア、測定エラー）、測定器はエラー音を2回鳴らします。
- ・具体的な対処方法が表示されます。エラー画面の先頭にはエラーの内容が表示されます。それ以降は対処方法となります。エラー画面にOKが表示されたら、横にあるボタンを押して次に進みます。
- ・問題が解決できないときはお問い合わせ先までご連絡ください。お問い合わせ先は裏表紙に記載されています。

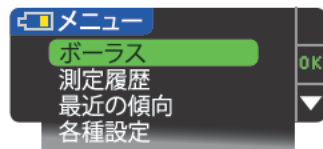
電池の状態

電池の状態の表示

電池の状態は、血液を点着画面とメインメニュー画面に、電池マーク  で表示されます。そのマークで電池残量がどれだけあるかわかります。



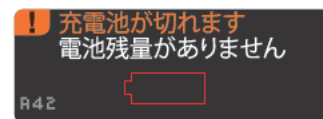
この電池マークは100%のフル充電の状態を示しています。



使用に伴う電池残量の減少は、画面の電池マークの色で確認できます。電池残量が少なくなると残量を示す色が黄色になり、電池残量がほとんどなくなると赤になります。



電池残量が少なくなると、残量が少なくなっていることを警告し、「充電してください」というメッセージがでます。



さらに充電をしないと次の警告が表示されます：「充電電池が切れます、電池残量がありません」。この警告が表示された場合は、すぐに充電してください。

電池の充電

測定器を充電器に接続するか、コンピュータのUSBポートにUSB延長ケーブルを使用して接続します。測定器をコンセントやコンピュータに接続すると、測定器はすぐに充電を開始します。コンピュータがオンになっていること、スリープや休止あるいはパワーセーブモードになっていないことを確認してください。

血糖センサーポートライトは充電中点滅し、充電が完了すれば点滅が止まります。測定器を取り外し、次の測定まで携帯用ケースに入れて保管しておきます。

充電中に測定器上部の **メニュー** ボタンを押すといつでも充電状態が表示できます。

急速充電

測定器をつないだときに電池残量が少なくなっていると、約1分間急速充電が行われます。急速充電が完了すれば、測定器のUSBプラグを抜いて直ぐに血糖を1回測定することができます。



通常の充電

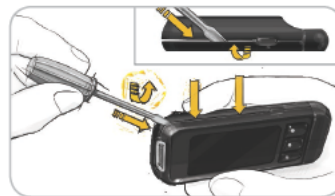
急速充電が完了すれば、通常の充電となります。通常の充電は高出力USBポートにつないで約2時間かかります。電池がフル充電になったら血糖センサーポートライトの点滅が止まります。

注意：一部のコンピュータのUSBポートやセルフパワーUSBハブは、室温よりもかなり熱くなることがあります。コンピュータの熱から測定器を守るためUSB延長ケーブルを使用してください。

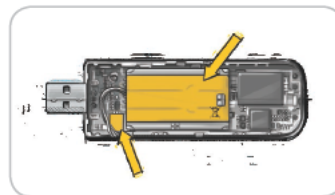
注記：電池の状態が「低速充電中」と表示していれば、コントラネクスト Link2.4測定器を低電力USBポートにつないでいる可能性があります。コンピュータの別のUSBポートにつなぎ変えてください。コンピュータもしくはPSEマーク付の5V充電器のみに接続してください。

測定器の寿命が切れたとき/電池の取り外し

注記：下記の操作は測定器を今後使用する予定がない場合にのみ実施してください。測定器は電池を取り出すために開けた時点で機能しなくなります。



電池を取り出して廃棄しなければならない場合は、上と下のケースをこじ開けてください。まずセンサーポートに近いところにマイナスドライバーの先端を差し込み、ドライバーをねじってケースの隙間を広げます。上側のケースが外れるまで同じ動作を同じ側面のいろいろな場所で繰り返します。



充電式電池を持ち上げます(A)。
電池コネクタ(B)を引っ張って電池を取り出します。

測定器とリチウムポリマー電池は地域/国の法律および規則に従って廃棄してください。

高/低血糖の症状

高/低血糖の症状を知っておけば測定結果をより深く把握することができるようになります。最も一般的な症状をいくつか以下に紹介します：

低血糖:	高血糖:	ケトン体(ケトアシドーシス):
・ 震え ・ 発汗 ・ 動悸 ・ 視力障害 ・ 混乱 ・ 意識喪失 ・ イライラ感 ・ 発作 ・ 過度の空腹感 ・ めまい	・ 頻尿 ・ 過度の口渇 ・ 視力障害 ・ 疲労感の増大 ・ 空腹感	・ 息切れ ・ むかつきや吐き気 ・ ひどい口内乾燥



警告

上記のような症状があれば、血糖値を測定してください。測定結果が50 mg/dLを下回ったとき、あるいは250 mg/dLを超えたときは、直ぐに主治医に連絡してください。

症状の詳しい情報や症状一覧は主治医に相談してください。

テクニカル情報

正確度

コントアネクスト Link2.4血糖測定システムについては100件の毛細管血試料、600枚のコントアネクスト センサーを用いた試験を実施済みです。2つの同一検体を3ロットのコントアネクスト センサーで合計600回測定して評価しました。測定結果は、CDCヘキソキナーゼ手法に従ったYSI®グルコースアナライザーと比較検討されました。⁷ 下表は2つの技法の性能を比較したものです。

表1 – グルコース濃度<100 mg/dLでのコントアネクスト Link2.4測定器とコントアネクスト センサーのシステム正確度の結果

+/-5 mg/dLの範囲内	+/-10 mg/dLの範囲内	+/-15 mg/dLの範囲内
160 / 186 (86.0%)	183 / 186 (98.4%)	186 / 186 (100%)

表2 – グルコース濃度≥100 mg/dLでのコントアネクスト Link2.4測定器とコントアネクスト センサーのシステム正確度の結果

+/-5%の範囲内	+/-10%の範囲内	+/-15%の範囲内
307 / 414 (74.2%)	411 / 414 (99.3%)	414 / 414 (100%)

国際規格ISO 15197: 2013の許容基準は「全ての血糖値の差（つまり対照検査法と測定器の測定値の差）の95%が、血糖値100 mg/dL未満では+/-15 mg/dL、血糖値100 mg/dL以上では+/-15%以内に入っていること」となっています。

精度

コントアネクスト Link2.4血糖測定システムの再現性試験は、グルコースレベルが40 - 334 mg/dLの5種の静脈全血試料を用いて実施済みです。複数のコントアネクスト Link2.4測定器および3ロットのコントアネクスト センサーを用いて合計300回測定して評価しました。以下の精度データが得られています：

コントアネクスト Link2.4測定器とコントアネクスト センサーのシステム再現性

平均グルコース濃度 mg/dL	標準偏差 mg/dL	変動係数(%)
39.6	0.8	2.0
80.7	1.0	1.3
122.3	1.6	1.3
204.8	2.8	1.4
330.4	4.5	1.4

測定原理

コントアネクスト Link2.4測定器による測定は、血糖センサーの電極上の試薬とグルコースの反応が引き起こす電流を測定します。血液サンプルは毛細管現象によって血糖センサーの先端から吸引され、FADグルコース脱水素酵素（FAD-GDH）と反応します。この反応により電子が発生し、サンプル中のグルコース量に比例した電流が生じます。反応時間が終了すると、サンプル中のグルコース濃度が表示されます。計算の必要はありません。

比較オプション

コントアネクスト Link2.4は毛細管全血の測定用に設計されています。臨床検査機器との比較は一定分量の同サンプルで行ってください。注意：グルコース濃度は解糖作用によって急速に低下します（1時間で約5%-7%）^a。

メンテナンス情報

問題があるときや測定器の問題解決メッセージで問題が解決されないときは、お問い合わせ先までご連絡ください。お問い合わせ先は裏表紙に記載されています。担当スタッフがサポートいたします。

重要注意事項

測定器についてお困りの場合は、まずお問い合わせ先にご相談ください。担当スタッフが問題の速やかな解決に役立つ情報を提供いたします。

お電話の際にはコントアネクスト Link2.4測定器とコントアネクスト センサーをお手元にご用意ください。

チェックリスト

お問い合わせ先にお電話の際には次のことをあらかじめご確認のうえ、お手元にご用意ください。

1. 測定器の裏側にあるモデル番号(A)とシリアル番号(B)
2. ボトルに記載の血糖センサーの使用期限
3. ディスプレイ上の電池マーク  (48ページ、「電池の状態」参考)



使用マーク

以下のマークは、コントアネクスト Link2.4血糖測定システムの全ての製品ラベルに使用されています（測定器の梱包の表示およびラベル、血糖センサーの梱包の表示とラベル）。

マーク	意味	マーク	意味
	使用期限（表記月の末日）		体外診断用医療機器
	製造番号		カタログ番号
	使用可能期限		リサイクル包装
	保管温度		再使用禁止
	取扱説明書を参照		注意
マーク	意味		
	USB延長ケーブルは電気/電子機器廃棄物です。廃棄する場合は地域の条例等に従ってください。		

医療廃棄物ガイドラインについては医療関係者または地域の自治体にお問い合わせください。

システムの仕様

測定サンプル：毛細管全血

測定結果：血液中のグルコース濃度

サンプル量：0.6 μ L

測定範囲：20 mg/dL – 600 mg/dL

カウントダウンタイム：5秒

メモリー：最新1000件の測定結果を保存

電池タイプ：交換不可能な250 mAh充電式リチウムポリマー電池、3.4 V–4.2 V（5 V入力電圧）

測定器/電池の寿命：5年間

充電電流：300 mA

血糖センサーの保管温度範囲：0°C–30°C

測定器動作温度範囲：5°C–45°C

湿度：10%–93%相対湿度

サイズ：97 mm（幅）x 31 mm（高）x 17.5 mm（厚）

重量：43 g

ブザー音出力：10 cmの距離で45 - 80 dBA

電磁適合性（EMC）：コントアネクスト Link2.4測定器は、ISO15197:2013に規定されたEMC要件に適合しています。他の無線通信機器からの電磁波干渉を避けるため、コントアネクスト Link2.4測定器を携帯電話やコードレス電話、トランシーバー、電動ガレージドア開閉機、無線送信機、その他電波を発する機器のそばで使用しないでください。これらの機器は測定器の適正な動作に支障をきたす可能性があります。

測定器の手入れ

注意：測定器と血糖センサーは過度の湿気、熱、冷気、埃、汚れにさらされないようにしてください。

- ・測定器はできるだけ携帯用ケースに収納してください。
- ・手をよく洗い、水気をしっかりと拭き取り、測定器や血糖センサーに水分や油分、その他の汚れが付着しないようにしてください。
- ・血液、あるいは洗浄液が、センサーポートやUSBプラグに入らないようにしてください。
- ・測定器は慎重に取り扱い、電子部品へのダメージや、その他の故障が生じないようにしてください。
- ・コントアネクスト Link2.4測定器のUSB保護キャップはUSBプラグを保護するように設計されています。キャップをなくしたときは、お問い合わせ先より新しいキャップをご入手ください。お問い合わせ先は裏表紙に記載されています。

測定器の清掃・消毒

- ・コントアネクスト Link2.4測定器の外装は、中性洗剤や消毒剤溶液（漂白剤1と水9の割合の溶液等）で湿らせた（濡れた状態ではない）清潔な布あるいはティッシュで拭いてください。清掃後は乾いた布あるいはティッシュで拭いておきます。USBプラグやセンサーポートの内側にものを差し込まないでください。また内側を清掃しないようにしてください。

注意：ボタンやUSB保護キャップやセンサーポートの内側や周辺に洗浄液が垂れないように注意してください。液体が入ると故障するおそれがあります。

関連製品

製品名をご確認のうえ、お問い合わせください。

製品名

- ・コントアネクスト センサー
- ・コントアネクスト コントロール液 基本セット
- ・コントアネクスト コントロール液 N

関連製品についてのお問い合わせは、下記 糖尿病検査お問い合わせコーナーまでご連絡ください。

関連製品お問い合わせ先
PHC株式会社

糖尿病検査 お問い合わせコーナー

0120-123-119

9:00～17:30（土・日・祝日、弊社休日を除く）

参考文献

1. Wickham NWR, et al. Unreliability of capillary blood glucose in peripheral vascular disease. *Practical Diabetes*.1986;3(2):100.
2. Atkin SH, et al. Fingerstick glucose determination in shock. *Annals of Internal Medicine*. 1991;114(12):1020-1024.
3. Desachy A, et al. Accuracy of bedside glucometry in critically ill patients: influence of clinical characteristics and perfusion index. *Mayo Clinic Proceedings*. 2008;83(4):400-405.
4. US Food and Drug Administration. Use of fingerstick devices on more than one person poses risk for transmitting bloodborne pathogens: initial communication. US Department of Health and Human Services; update 11/29/2010. <http://www.fda.gov/MedicalDevices/Safety/AlertsandNotices/ucm224025.htm>
5. Centers for Disease Control and Prevention. CDC clinical reminder: use of fingerstick devices on more than one person poses risk for transmitting bloodborne pathogens. US Department of Health and Human Services; 8/23/2010. <http://www.cdc.gov/injectionsafety/Fingerstick-DevicesBGM.html>
6. Cryer PE, Davis SN. Hypoglycemia. In: Kasper D, et al, editors. *Harrison's Principles of Internal Medicine*. 19th edition. New York, NY: McGraw Hill; 2015. <http://accessmedicine.mhmedical.com/content.aspx?bookid=1130§ionid=79753191>
7. Data on file, Ascensia Diabetes Care.
8. Burtis CA, Ashwood ER, editors. *Tietz Fundamentals of Clinical Chemistry*. 5th edition. Philadelphia, PA: WB Saunders Co; 2001;444.

保証

メーカー保証：日本メドトロニック(株)は、購入者に対して、本機器の購入日から3年間、本機器について材質や仕上りの瑕疵がないことを（以下の事項を除き）保証します。規定の3年間、日本メドトロニック(株)は、瑕疵のある製品と認めた機器については、所有のモデルと同等品あるいは最新版と無料で交換します。

保証の制限事項：本保証には以下の例外および制限事項が適用されます。

1. 本保証は部品および仕上りの瑕疵による交換に限定されます。日本メドトロニック(株)は、乱用、事故、変更、改造、誤用、手入れの怠慢、日本メドトロニック(株)の従業員もしくは日本メドトロニック(株)が指定した者以外によるメンテナンス、あるいは取扱指示に従わない操作にて故障した、あるいは損傷した機器を交換する義務を負いません。また日本メドトロニック(株)は、日本メドトロニック(株)が製造または推奨する適切な試薬（コントアネクスト センサー等）以外の試薬を使用した結果生じる本機器の故障または損傷に一切の責任を負わないものとします。
2. 日本メドトロニック(株)は、本機器の設計に変更を加える権利を留保するものとし、また先に製造した本機器にかかる変更を組み込む義務を負いません。
3. 日本メドトロニック(株)は、コントアネクスト センサー以外の血糖センサーを使用した場合のコントアネクスト Link2.4測定器の性能については検証しておらず、そのためコントアネクスト センサー以外の血糖センサーを使用した場合、あるいはコントアネクスト センサーをいかなるかたちであれ変更または改造した場合も、コントアネクスト Link2.4測定器の性能に一切の保証を行いません。

日本メドトロニック(株)は本製品について、本保証に定めるものを除き、他の一切の明示的又は黙示的保証の責任を負いません。上記の交換という選択肢は、日本メドトロニック(株)が負う本機器の保証における日本メドトロニック(株)の唯一の義務とします。本機器の利用に関連して購入者が被った損害については、日本メドトロニック(株)は、購入者の本機器の購入代金を上限として賠償するものとし、また、いかなる場合も、日本メドトロニック(株)は、間接的、特別的、または結果的損害については、日本メドトロニック(株)がかかる損害の通知を受けていても、一切の損害に対し責任を負いません。

保証サービス：本機器の使用のサポートやアドバイスはお問い合わせ先までお問い合わせください。お問い合わせ先は裏表紙に記載されています。

索引

A-Z	
CareLink/ パーソナル	47
mg/dL(デシリットル当たりのミリグラム数)	iii
あ行	
ウェブサイト	裏表紙
エラー検出画面	47
オートログ／マーカー	6
オフにする	32
オンにする	31
か行	
各種設定メニュー	27
オートログ	31
カスタマーサービス	36
日付	29
警告の範囲	35
言語	36
測定タイマー	28
ブザー音	31
目標範囲	33
時刻	29
傾向の対象期間	35
カスタマーサービス	36
お問い合わせ先	裏表紙
関連製品	57
傾向の対象期間:設定	35
警告の範囲	7
設定	7
血糖値が高い場合/低い場合	18
血液採取	11
別の部位での測定時の血液採取	14
指先での測定時の血液採取	11

血液の追加点着	12
血液量が足りない場合	12
血糖センサー	3
血液量が足りない場合	12
血糖値が高い/低い場合の測定結果	18
血糖値に関する警告	18
言語	5
高/低血糖の症状	50
コントアネクスト センサー	3
コントロール液	19

さ行	
最近の傾向(平均値/サマリー)	26
オートログオフでの表示	26
オートログオンでの表示	26
サンプル量	55
時刻	29
時間表示形式(12時間表示または24時間表示)	30
設定:ポンプと接続していない場合	29
システムの仕様	55
使用マーク	54
初期設定	5
正確度	51
精度	51
センサーポートライト	4
選択/スクロールボタン	4
測定	9
血糖値の測定	9
別の部位での測定(AST)	14
指先での測定	11
暗い場所での測定	18

オートログオフでの測定	12
オートログオンでの測定	13
測定器	4
概要	4
廃棄	49
測定器のオン/オフ	4
測定器の手入れ	56
測定タイマー	22
測定後の設定	22
各種設定メニューでの設定	28
オフにする	28
測定履歴/メモ	24
メモの入力	24
表示	25

た行	
テクニカル情報	51
電池	48
充電	48
急速充電	49
取り外し	49
状態の表示	48
電池に関する警告	48

は行	
日付	27
表示形式(日.月.年または月/日/年)	6
設定:ポンプと接続していない場合	29
ブザー音オン/オフ	31
別の部位での測定(AST)	14
保証	58
ボタン	3
OKボタン	4

スクロール/選択ボタン	4
メニューボタン	3

ま行	
メインメニュー	25
測定履歴	25
各種設定	27
最近の傾向	26
メニューボタン	4
メモ	24
測定結果への追加	24
メモの削除	24
メンテナンス情報	53
目標範囲	8
目標範囲の変更	33
オートログがオフの場合	33
オートログがオンの場合	34

や行	
指先での測定	11

【製造販売元】

PHC株式会社

〒105-8433 東京都港区西新橋2-38-5

【お問い合わせ先(販売元)】

日本メドトロニック株式会社

ダイアビータイス事業部

〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

24時間サポートライン

0120-56-32-56

<http://www.medtronic.co.jp/>

Ascensia、Ascensia Diabetes Careのロゴ、コントラ、No Codingのロゴ、Second-ChanceはAscensia Diabetes Care Holdings AGの商標および/または登録商標です。その他全ての商標は、それぞれの所有者が権利を保有しています。

www.diabetes.ascensia.com



Medtronic、Medtronicロゴマーク、MiniMed、およびCareLinkはMedtronic社の商標です。

Medtronic



© 2018 Ascensia Diabetes Care Holdings AG. All rights reserved.

90001197

Rev. 02/18